

夜間の地震発生時の避難訓練

特色のある内容

平成20年8月3日午後8時00分～午後9時00分

水尾学区全4個自主防災部の「身近な地域の市民防災行動計画」の検証として、総合防災訓練を行いました。

夜間の地震発生を想定し、学区のサイレン鳴動とともに、家族の安否や火の元の確認のうえ、必ず隣家の2軒以上に声を掛け、各防災部単位で一時避難場所である水尾小学校へ避難しました。避難完了後に各防災部長から自主防災会長に正確な被害状況を報告しました。



特記事項

- 水尾学区では、住民の多数を高齢者が占めることから、互いに声を掛け合い、協力して避難することが重要との認識のもと、今回の訓練を実施しました。

まったなしの大地震にそなえて

特色のある内容

各自主防災会に比べて、特に夜間の人口が増加する西院第二自主防災会は、自主防災部で策定した、身近な地域の市民防災行動計画づくりの実践と検証の意味をこめて、夜間にも起こりうる「まったなしの大地震にそなえて」夜間を想定した総合防災訓練を西院中学校で実施しました。

今回の訓練は、情報収集訓練の内容を人の被害と建物の被害に分け、自主防災部単位で各被害を図表化し、提出された図表を自主防災会が集計、さらに完成度を増すために自治連合会の各種団体が手を加えるというスタイルで進行しました。



特記事項

- 地震発生の時間が午後6時では、勤務の都合や家事の時間帯と重なるので、開始時間や訓練時間も再検討の必要がありました。また、夜間の訓練ということをお勧めし、初動処置から終了までの時間を2時間以内で実施しましたが、実働の時間が短時間となり訓練種目の選定に苦労しました。
- 暗闇の中での起震車による地震体験訓練は臨場感があったと評判でした。
- 地域防災マップや災害時に必要な物品リストを作成し、参加予定者に配付し、家族での初動対応、自主防災部での避難ルートの作成についてもおおむね身近な地域の市民防災行動計画どおり実施できました。